

保育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・丈夫な体と豊かな心を持つ子どもに ・素直で、思いやりのある子どもに ・遊びも仕事も学ぶことも好きな子どもに ・自然や美しいものに感動できる子どもに
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

一 当園知的教材研究、指導講師（平田匡邦先生）による評価

幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高めるとともに、保護者のニーズを確認することで、本園がこれから担う役割について検討する。

重点項目	具体的な取り組み	自己評価と課題	平田先生コメント
幼稚園教育要領を理解し、教育課程の編成と実施	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎体力を上げ維持するため、毎週1日は運動に重点をおいた保育をする ・早朝保育・朝の時間を利用して、外遊びの時間をより多く確保する。 ・完全給食に移行する前段階として、火曜日をお弁当と給食の選択制にした。 	<p>A：外遊び、運動遊びを通じて、子どもたちの基礎体力をつける努力をした。プチマラソンは子どもたちの持久力をつけるのにいいと思う。飽きて来ないように工夫が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食お弁当の選択の日は、給食を食べる子どもたちが嫌がるかもしれないという危惧があったが、まったくその心配はないようだった。準備は少し大変だったが、子どもたちは平気なようだった。いつもと違うお友だちと一緒にいる時間も楽しんでいた。 	<p>外遊びでは、積極的に外遊びを推進していることをいつも感じます。先生方も一緒に遊んだり、コミュニケーションをとったりしている姿を微笑ましく思います。安全にも十分配慮してください。また、鉄棒や平均台等の器具・遊具も使用して園庭全体を走ったり、ぶら下がったり、跳んだりして体力増強できるサーキット運動も楽しいのではないかと思います。</p>
保育の在り方、子どもへの対応の仕方の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが先生や友達にあいさつがきちんとできるように指導する。 ・保育者としての身だしなみ、立ち居振る舞い、言葉づかいをさらに向上させる。 ・食育に関して、昼食を完食することも大切だが、子どもの体調や受け付けない食べ物には容赦し、次の保育の活動に差しさわりのないよう気を付ける。 	<p>B：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの子どももあいさつがきちんとできるかといえばそうでもない。あいさつをすることが抵抗なく、当たり前になるまで、毎日3年間通じて子どもたちに言って聞かせるという保育者の心構えが最も大切だと思う。保護者の協力も必要である。 ・言葉遣いや振る舞いは、子どもに多大な影響を与えるので、いつも気を付けていなければならない。注意するときも叱るときも荒っぽい言葉遣いをしないようにした。 ・褒めるときは、具体的に褒めることで、他の子どもたちにもよい影響を与えた。 	<p>松原ひかり幼稚園の園児は、人なつこく、「こんにちは」と園児の方から声をかけてくれます。いつもその姿に感心しています。</p> <p>挨拶は、義務感や押しつけでは、よい挨拶は望めません。子どもたちが楽しく感じ、しかも継続的にできるにはどうしたらよいかを先生方全員でアイデアを出し合って行動に移すことが大切だと思います。</p> <p>年齢によってもできることも異なります。内容と時間（今月はコレ）を具体的にし、保育で実践しましょう。</p>
保護者との連携、信頼関係、子育て支援の強化 地域住民との相互理解	<ul style="list-style-type: none"> ・園だより、クラス便りの発行 ・HPに日々の保育の様子を掲載 ・保護者メール配信 ・保育参観 個人懇談 保護者役員会 ・未就園児教室 保育体験 	<p>A：27年度は、地域のイベントにたくさん参加させていただいた。地域の方々とのコネクションもでき、当園の子どもたちの活動や安全面でのご協力がいただけるよう、幼稚園として地域に貢献できることをかんがえてい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園運営にとって、地域交流は重要な活動の一つです。地域の方々とより多く接する姿勢は、園のオープン化に繋がります。今後も地域貢献という観点から、積極的に推進していた

	<ul style="list-style-type: none"> ・保育オープン DAY ・夏祭りの実施・松原市市民祭り参加 ・地域の小学校との交流 ・近隣の方への配慮・あいさつまわり・お礼 ・松原市政府ティーコミュニティ防災訓練参加 ・幼年消防クラブ「防火パレード」 ・松原警察オープニングセレモニー参加 ・高齢者施設の方がたとの触れ合い・豆まきのご協力 	<p>ていきたい。</p>	<p>だきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HPからのブログでは、園活動や保育の様子を伝えることが継続的にしっかりできていると思います。 ・ 保育参観は通常、保護者を対象としますが、祖父母を対象にした祖父母会も好評のようです。
<p>安全管理と施設設備の点検、補修、管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正門その他の場所での防犯カメラの設置 ・防災避難訓練の実施 ・不審者侵入避難訓練 ・警察と連携した防犯教室 ・消防署と連携した防火教室、花火指導、避難訓練 ・遊具施設や危険箇所、故障のすみやかな補修 ・災害危険、特別警報等の緊急時のマニュアルの確認 	<p>A :</p> <p>遊具や机イスなどの修理はすみやかに行われ、保育に差し障ることがなかった。</p> <p>今後も保育室や廊下を走ったりしないよう、声かけを必ず行うようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園舎の施設の修理など、まだ改善の余地があるので、計画的に改修していきたい。 	<p>危険予知・対策はしすぎることはありません。「子どもの動線」でいつでもどこでも問題意識を持って安全に努めてください。</p> <p>廊下を走っている子どもを見た記憶がありません。子どもたちに「走らない」という規則が徹底できているのですね。</p>
<p>子どもの健康と安全への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時の視診 ・生活習慣の確立 ・内科・眼科・耳鼻科・歯科検診と身体測定 ・保育環境の日々の清掃、衛生管理、整理整頓 ・自園給食での栄養バランスの改善、アレルギーの細かい対応 ・空気清浄器の設置 ・感染症が出た際の園内の消毒を徹底し、感染拡大をふせぐ ・夏は園舎内、園庭に蚊取り線香を数か所おき、子どもたちには虫よけスプレーやミストをこまめに使った。 	<p>A : 感染症の蔓延をふせぐため、手洗いうがいを徹底し、保育室やトイレ、廊下の手すり、バスなどの消毒も行った。空気清浄器だけでなく、窓をあけて換気を忘れずにした。そのほか、感染症の種類によって、保育者の感染防止（マスクや使い捨てエプロン）を徹底した。</p> <p>蚊などからの病気の感染にも敏感になり、より衛生への意識が高くなった。</p>	<p>手洗いうがいの励行には、「なぜ」が必要です。「なぜ」そうしなければならぬのか？ということ子どもたちと話し合ったり、絵本等を利用して理解を深めてください。</p> <p>また、ただ手洗いをするだけでなく、指の間も爪の間もしっかり洗う等、うがいも含めてきちんとできるまで再徹底をしましょう。</p>

今後の課題

- ・クラスの友達や先生だけでなく、幼稚園にいるすべての子どもたち、先生、お客様にもあいさつができること
- ・保育や日々の園生活の中で、子どもたちが自由な発想や思いを発信できる環境・雰囲気づくり、またそれを実現する手助けを保育者がするだけでなく、子どもたちにも考える機会を与えること
- ・異年齢の子どもたちと過ごす時間を増やす。いたわりや思いやりの心が育ち、また同年齢の仲間とは違う遊びや言葉に触れる事もとても貴重である。

今後の課題について（平田先生コメント）

- ・オープン保育や未就園児クラス等、いろいろな来園者があります。**TPO**に応じた挨拶ができるよう、挨拶の工夫を保育で取り組みましょう。
- ・安全面にしても保育の面でも、そして子どもたちを褒めることもさらに良いものにしていくには、子どもの観察をより強化することが重要です。観察から課題を見だし、そのレベルに応じた保育をこころがけましょう。